

平成 30 年度 事業報告書

平成30年度は、平成30年7月豪雨等大災害に見舞われ、県との災害協定に基づき、全会員で災害に対応した。

このような中で、平成30年度事業計画に基づき、「技術力の向上と新しい技術の取得」「経営基盤の充実」「業界の将来に向けて」の実現に向け、各実施方針に基づき、年間を通した活動を行った。

第7回目となる「郷土づくりシンポジウム」では、更なる充実を図り、高校生等多くの方々に参加していただく等この業界の認識・イメージアップと就業意欲の喚起に努めた。

また、鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会と協力し、県内3高校へ「UAV測量演習」を行う等、「認知度向上」「業界を担う次世代の育成」等に努めた。

技術力の向上に向けて、CIM等についての研修に積極的に取り組み、会員技術者の理解を深めることに努めた。

さらに、今年度、“業界を担う次世代の育成”のため、新たに『若手主体の経営勉強会』、日本技術士会中国本部鳥取県支部と共催した『女性技術者のつどい』を開催し、今後も継続的に取り組むこととしている。

その他各種研修会を開催する等技術力の向上と県、国との意見交換を実施する等経営基盤の充実、公共の福祉の増進に向けた次の事業を行った。

I. 技術力の向上

1 平成30年度シンポジウム（10月26日）

この郷土づくりシンポジウムを通し、テーマである「豪雨に起因する土砂・流木災害」を考えるとともに、第1部の基調講演、アトリウム等でのパネル展示、TS機器・UAV等展示、実演等により、高校生、若者に向けて業界の魅力を発信した。

○主催：(一社)鳥取県測量設計業協会、国立大学法人鳥取大学

共催：(一社)国立大学協会

後援：国土交通省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所

鳥取県、公立鳥取環境大学、鳥取大学振興協力会、中国地質調査業協会鳥取県支部
(一社)日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会

○内容

来賓挨拶 国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所

所長 高木 繁氏

鳥取県県土整備部 次長 草野 慎一氏

【第1部】

基調講演

「建設コンサルタントの魅力について」

ハタコンサルタント(株) 代表取締役 降 旗 達 生 氏

【第2部】

パネルディスカッション 「豪雨に起因する土砂・流木災害」

司 会 鳥取県測量設計業協会会長 大野木 昭 夫

パネラー 鳥取大学大学院工学研究科教授 三 輪 浩

鳥取大学農学部准教授 芳 賀 弘 和

鳥取県県土整備部次長 草 野 慎 一 氏

鳥取県測量設計業協会 上 村 卓 弘

○参加者 340名（うち高等学校(米工、倉農、人材センター倉吉) 124名）

○鳥取県魅力発信事業の対象として開催した。

2 技術講習会、研究会等の開催

CIM関連研修、優良業務発表会及び福岡県の災害現地視察及び中国各県協会・県と連携して研修会等を開催し、技術力の向上・啓発に努めた。

また、全測連等主催の講習会案内、技術関係図書の斡旋・紹介、技術情報等の提供を行った。

(1) 第3回鳥取県優良業務発表会

平成27年度、協会が要望していた優良業務表彰制度が鳥取県により創設され、9月1日に第3回目の表彰が行われた。(15業務 10者表彰)

これを受け、表彰業務やその取組を広く会員や発注者等に知っていただき、業界全体の技術力等能力の向上のため開催した。開催に当たっては、中国地質調査業協会鳥取県支部、

(一社)日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会と共催し、建設コンサルタント業界全体での情報発信を行った。

日 時 平成30年4月19日(木) 13時30分～16時30分

場 所 倉吉未来中心 小ホール

発表者及び発表業務

(土木関係建設コンサルタント部門)

①サンイン技術コンサルタント(株) [鳥取県土] 田 子 京 子

なめら谷川砂防工事「測量設計及び地質調査業務委託」

- ②アサヒコンサルタント(株) [八頭県土] 松本 豊
 県道岩美八東線外道路のり面工・土工構造物総点検業務委託(交付金補修)
- ③西谷技術コンサルタント(株) [中部県土] 横山 洋美
 国道313号(倉吉関金道路)改良工事「地質調査及び橋梁予備設計業務委託」(石塚高架橋)(補助改良)
- ④アーステクノ・泉コンサルタント共同企業体 [米子県土] 白間 学
 精進川外堤防機能評価業務委託(その1)
- ⑤(株)荒谷建設コンサルタント鳥取支社 [日野県土] 西尾 潤
 国道482号(箸建橋)橋梁補強工事「耐震補強詳細設計業務委託」
 (交付金橋梁補修)

(測量・地質・補償関係コンサルタント部門)

- ⑥(株)広洋コンサルタント [中部県土] 小谷 崇
 北条川放水路改修工事「地盤変動影響調査業務委託(事後調査その7)」

参加者 216名

(2) CIM (3次元CAD) 体験セミナー (地区協委託研修)

i-Construction・CIMの取り組みに必要となる3次元CADへの理解を深めるため、(一財)日本建設情報総合センター後援、福井コンピュータ(株)、川田テクノシステム(株)の協力を得て開催した。

日時 1日目 平成30年7月11日(水) 10時～
 2日目 平成30年7月12日(木) 9時30分～

場所 米子市食品会館

参加者 鳥取・島根協会員 20社

内容

1日目

- ① i-Con&CIMの背景、新基準等の解説 福井コンピュータ
 ② 【実習】 福井コンピュータ

* 3次元測量

- ・点群データについて
- ・不要物、ノイズ除去、密度調整
- ・3次元計測データから地形形状の抽出
- ・路線縦横断データ作成

- ・コンタ図及び点群トレース
- ・現況三角網 (TIN) データ変換

* ICT 施工

- ・ i-Construction での各工種について
- ・数量算出、出来形管理

2 日目

① CIM 導入ガイドラインと CIM 事業における成果品作成の手引き (解説)

J A C I C 研究開発部 首席研究員 長瀬 恒久 氏

② 【実習】 川田テクノシステム

* 地形データ作成

- ・点群データ読込
- ・地形モデル作成

* 3 次元土木設計

- ・橋梁構造物設計、地質モデル作成 3D 確認
- ・道路設計、3 次元土量計算・シミュレーション
- ・3DPDF、Land. XML、IFC 出力

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 94.3%

(3) 平成30年度災害復旧実務研修会

日 時 平成30年6月5日 (火)

場 所 倉吉市 伯耆しあわせの郷

講 師 鳥取県県土整備部技術企画課

参 加 者 67名

内 容 災害復旧事業の実務について

災害復旧事業の基本的事項や平成30年度の制度変更点

設計の留意点

事例紹介

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 98.2%

(4) RCCM・技術士第一次試験準備研修会

日 時 平成30年8月2日 (木)

技術士一次研修 10時~12時

RCCM研修 13時10分~16時

場 所 倉吉市 倉吉未来中心

講 師 (公社) 日本技術士会

鳥居 直也 氏

参加者 技術士一次研修 32名
RCCM研修 37名
受講者アンケート結果 分り易い 技術士 100%
RCCM 100%

(5) i-Constructionセミナー ～i-Con 深化の時代へ～

(一社)日本建設機械施工協会中国支部、全測連中国地区協議会主催により、平成29年12月にi-Con大賞、優秀賞を受賞された2社の発表やこの新基準の最新情報やCIMなどを実際に使用した実例等を紹介するセミナーが2会場で開催され参加した。

主催 (一社)日本建設機械施工協会中国支部、全測連中国地区協議会
共催 (一社)中国建設弘済会、(公社)日本測量協会中国支部
(公社)土木学会建設用ロボット委員会
後援 国土交通省中国地方整備局、国土地理院中国地方測量部、広島県(広島会場)
島根県(松江会場)、(一社)オープンCADフォーマット評議会
参加者 地区協会員 128名 他

[広島会場]

日時 平成30年4月17日(火) 13時～
場所 広島市 広島県民文化センター
内容

「i-Constructionの最新情報」
国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課
施工安全企画室 課長補佐 近藤 弘嗣氏
「中国地方 建設現場の生産性向上について」
国土交通省中国地方整備局 企画部
機械施工管理官 玉田 一雄氏
事例紹介「ICT土工の創意工夫とポイント」
カナツ技建工業(株) 特別顧問 高橋 広幸氏
事例紹介「測量・設計の現場におけるCIM活用について」
(株)荒谷建設コンサルタント道路部長 山本 悟氏
事例紹介「ICTを活用した施工について」
五洋建設(株)・井森工業(株)特定建設工事共同企業体
徳山下松港新南陽地区航路(マックス12メートル)浚渫工事
現場代理人 福本 臣起氏

〔島根会場〕

日 時 平成30年4月18日(水) 13時～

場 所 松江市 くにびきメッセ

内 容

「i-Constructionの最新情報」

国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課

施工安全企画室 課長補佐 近藤 弘嗣氏

「中国地方 建設現場の生産性向上について」

国土交通省中国地方整備局 企画部

工物品質調整官 藤原 博明氏

事例紹介「ICT土工の創意工夫とポイント」

カナツ技建工業(株)

土木部情報技術グループチームリーダー 木村 善信氏

事例紹介「測量・設計の現場におけるCIM活用について」

(株)荒谷建設コンサルタント 道路部長 山本 悟氏

事例紹介「ICTを活用した施工について」

五洋建設(株)・井森工業(株)特定建設工事共同企業体

徳山下松港新南陽地区航路(マイス12メートル)浚渫工事

監理技術者 小林 隆一郎氏

(6) 平成30年度 女性技術者のつどい

今年度、初めての試みとして、(公社)日本技術士会中国本部鳥取県支部との共催により建設コンサルタント業務に関わって働く女性技術者及び女性技術者を目指す方を対象とした会を開催し、官民の女性技術者が意見交換等を行い、交流を深めた。

日 時 平成31年1月23日(水) 13時30分～15時30分

会 場 倉吉市 ホテルセントパレス倉吉

内 容

講演1「男女共同参画の意義」

講 師 鳥取県女性活躍推進課 課長 藤田 博美氏

講演2「男女共同参画に向けた女性技術者の活用」

講 師 (公社)日本技術士会中国本部鳥取県支部長 伊藤 徹氏

男女共同参画についての意見交換(交流・フリートーク)

コーディネーター: (公社)日本技術士会中国本部鳥取県支部 赤井 伸江氏

参加者 国・県・団体・会員 46名

(7) 測量技術者のための i-Construction セミナー

主 催 日本測量協会中国支部
共 催 全測連中国地区協議会
開 催 日 10月16日
場 所 三原市
内 容 ICT 建機と3次元測量
測量前の提出物、測量計画
飛行前点検(実地)、飛行(UAV)、検証点・標定点の注意点
写真チェック、点群生成処理、成果品

(8) 測量技術者のためのスキルアップ・セミナー

主 催 日本測量協会中国支部
共 催 全測連中国地区協議会
開 催 日 11月20日(広島会場)、12月12日(米子会場)
場 所 広島市
内 容 『測量技術者に求められるスキルとその背景』
『技術文章から課題を読み解くコツ(私流)』
『技術提案書作成のコツ(私流)』
『日常業務を円滑に進めるためのコツ(私流)』
『測量技術者が技術士(建設)を取得するために(私流)』

(9) 地理空間情報技術セミナー

主 催 日本測量協会中国支部
共 催 全測連中国地区協議会
開 催 日 11月29日
場 所 広島市
内 容 『UAV搭載型レーザスキャナおよび地上レーザスキャナを用いた公共測
量マニュアル(案)等について』
『UAV・ALBの利用状況とその動向』
『公共測量の最新動向を学べる関連技術講習等の活用ポイント』
『測量成果の品質管理等について』

(10) 測量 CPD 活用のためのセミナー

主 催 日本測量協会中国支部
共 催 全測連中国地区協議会
開 催 日 11月29日
場 所 広島市

内 容 『測量CPD制度とその活用状況』
『企業の技術戦略における測量CPD活用のポイント』

(11) 全測連中国地区協議会第6回技術発表会

平成30年7月豪雨により中止。

(12) 『三次元測量設計に関する講習会』（平成31年1月30日 技術センター）

県が実施した三次元測量設計に関する講習希望アンケート結果を基に、この会が開催された。

内 容

○三次元公共測量マニュアルの解説

① UAVを用いた公共測量マニュアル

② 地上レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル

講 師 国土地理院中国地方測量部測量課専門職 大矢 和生 氏

○三次元道路設計およびBIM/CIMの現状

講 師 復建調査設計(株)道路地域整備部

道路技術課主任エンジニア 檜崎 茂 氏

○鳥取県における三次元測量設計の取組

① 鳥取県の三次元測量設計の取組状況

講 師 鳥取県県土整備部技術企画課係長 椎木 孝三 氏

② 大路川河川改修工事「測量及び護岸予備設計業務」における取組事例

講 師 (株)ウエスコ鳥取支社技術部測量課 課長代理 青木 正和 氏

(13) 「コンクリート診断士受験対策」講習会（広島測協 4月24日）

(14) RCCM受験対策講習会（広島測協 5月23日）

(15) 第7回安全・安心な社会基盤の整備に関する講習会（広島測協 6月5日）

(16) 平成30年度 実務処理能力向上研修「災害復旧実務講座(コンサルタント編)」

(広島測協 6月11日)

(17) 第6回建設コンサルタント業務技術講習会（広島測協 7月5日）

(18) 第22回親と子の地学教室（地質協会 7月28日）

(19) セメント系固化材の利活用セミナー（9月12日 鳥取市 セメント協会セミナー後援）

(20) 第9回合同技術講演会（山口測協 10月19日～20日）

(21) 平成30年度新技術地下流水音探査法技術講習会（地質協会 10月24日）

(22) 平成30年度鳥取県支部第20回技術講演会（地質協会 11月16日）

(23) 平成30年度 技術士第一次試験合格者ガイダンス・講演会

(技術士会 平成31年1月19日 鳥取市)

(24) 船舶・海洋/航空・宇宙部会1月講演会 Web 中継（技術士会 平成31年1月26日）

- (25) 上下水道部会 1 月度講演会 Web 中継
- (26) 平成 30 年度第 2 回防災講演会 みんなで考える平成 30 年 7 月豪雨災害
(技術士会 平成 31 年 2 月 5 日)
- (27) 平成 31 年測量士受験対策講習会 (島根測協 平成 31 年 3 月 24 日～26 日)
- (28) 平成 30 年度ダム管理技士試験及び養成講習会 (4 月 2 日～5 月 18 日 東京都)
- (29) 2018 年度『圧入工法技術講習会』松江会場 (5 月 24 日 松江市)
- (30) 老朽橋プロから学ぶ診断・補修設計研修会(実務実践研修) (5 月 30 日～31 日 岡山市)
- (31) 土砂災害における最近の話題に関する講習会 (5 月 31 日 中部総合事務所)
- (32) CIM チャンピオン養成講座 - CIM 現場でのデータ活用とマネジメント -
(5 月～3 月 東京都、熊本市)
- (33) GIS (2 級) B 課程講習会 (I コース) Web 講習 (6 月 4 日～9 日 広島市)
- (34) 水準測量及び GNSS による水準測量技術講習会 (6 月 14 日 広島市)
- (35) 土研新技術ショーケース 2018in 大阪 (6 月 14 日 大阪市)
- (36) 砂防ダム調査・計画・設計実務実践研修会 (6 月 14 日～15 日 岡山市)
- (37) 河川情報センター講演会 (6 月 15 日 広島市)
- (38) 測量・地理空間情報イノベーション大会 (Web 中継) (6 月 19 日～20 日 広島市)
- (39) 鳥取県農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会 (6 月 20 日 中部総合事務所)
- (40) 下水道管きょ更生工法設計(初級)実務実践研修会 (7 月 5 日～6 日 岡山市)
- (41) 公共基準点測量成果のまとめ方 (7 月 10 日 広島市)
- (42) 実務者のための UAV 利活用セミナー(ビデオ講習)(松江)無料講習会(7 月 12 日 松江市)
- (43) UAV 飛行に関する知識・能力と写真測量技術研修会(IN 広島)
(7 月 12 日～13 日 広島市)
- (44) 基準点測量 B 課程講習会 (基準点測量コース) (7 月 18 日～24 日 広島市)
- (45) 平成 30 年度スペシャリストの会中四国支部(第 3 回) (7 月 25 日 広島市)
- (46) 初めての手軽な 3D 写真測量講習会 (8 月 1 日～2 日 広島市)
- (47) 平成 30 年度鳥取県被災宅地危険度判定士養成講習会
(8 月 17 日、24 日 建設技術センター)
- (48) 「道路・交差点改良設計研修会」 IN 広島 (8 月 23 日～24 日 広島市)
- (49) 用地測量調査課程講習会(II コース)Web 講習 (8 月 27 日～31 日 広島市)
- (50) UAV の安全確保に関する公開討論会 (8 月 29 日 東京都 UAS 測量調査協議会主催)
- (51) 砂防ダム調査・計画・設計実務実践研修会 (8 月 30 日～31 日 京都)
- (52) 平成 30 年度 RCCM 資格試験 Web 講座 (9 月 3 日～10 月 30 日)
- (53) 「2017 年制定コンクリート標準示方書 設計変・施工編」 発刊に伴う講習会 (9 月 6 日 岡山市)
- (54) 「落石対策調査・計画・設計実務研修会」 (9 月 6 日～7 日 岡山市)

- (55) 「地理空間情報イブニング・セミナー」(Web セミナー) (9月7日 広島市)
- (56) 「自然環境下のコンクリート劣化」に関するシンポジウム (9月21日 米子市)
- (57) 「UAV を用いた三次元計測とその利活用」講座 (9月20日～21日 廿日市市)
- (58) INSEM-ダブルウォール工法現地見学会 (10月9日 伯耆町工事現場)
- (59) オーストリア森林道設計・施工技術研修及びシンポジウム (10月9日 倉吉市)
- (60) 基準点測量 A 課程講習会(基準点測量コース) (10月15日～21日 広島市)
- (61) 第24回(平成30年度)下水道用管路資器材研修会 (10月17日 鳥取市)
- (62) 平成30年度サーベイアカデミー 初めての簡易型技術提案書作成講習会
(10月17日～18日 高松市)
- (63) 2019年測量士・補国家試験合格ガイダンス (Web) (10月23日 広島市)
- (64) 水害・土砂災害に関するシンポジウム (10月27日 鳥取市)
- (65) 平成30年度国土交通省 国土技術研究会 (11月1日～2日 東京都)
- (66) 2018年度技術講習会 (11月2日 広島市)
- (67) 平成30年度中国地方建設技術開発交流会 (鳥取県会場) (11月7日 鳥取市)
- (68) 千代川漁業対策協議会研修会 (11月9日 県東部庁舎)
- (69) 平成30年度サーベイアカデミー「初めての手軽な3D写真測量」(11月13日 福岡市)
- (70) 測量・地図の中級講座-ネットワーク型 RTK 法による基準点測量-(11月15日～16日 広島市)
- (71) G空間 EXP02018 シンポジウム (11月16日 東京都)
- (72) 2018年度サーベイアカデミー「UAV を用いた三次元測量とその利活用」
(11月20日～21日 宗像市)
- (73) 第11回国際地籍シンポジウム (11月21日 福岡市)
- (74) スペーシャリストの会特別講演会 (11月28日 広島市)
- (75) 第22回海岸シンポジウム (11月29日 東京都)
- (76) 「わかりやすいコンクリート」講習会 (11月30日 鳥取市)
- (77) コンクリート診断士合格指南セミナー (12月1日 広島市)
- (78) 平成30年度とっとり考古学フォーラム (12月2日 鳥取市)
- (79) 平成30年度河川情報シンポジウム (12月7日 東京都)
- (80) 第7回地理文化講演会 (12月7日 東京都)
- (81) 測量数学・誤差学の基礎 (Web) 講習 (12月7日 広島市)
- (82) 「近未来の社会を支えるインフラ維持管理技術の最前線」 (12月12日 米子市)
江島大橋で行われた技術の実装試験を紹介
- (83) 建設業生産性向上ワークショップ (12月15日～1月20日 大阪市)
- (84) 平成30年度鳥取県被災宅地危険度判定士養成講習会 (平成31年1月 鳥取県下)
- (85) 公開シンポジウム「鳥取の今を知る、未来を考える」 (平成31年1月16日 鳥取市)

- (86) 平成30年度「防災セミナー」(平成31年2月8日 東京都)
- (87) 2018年制定コンクリート標準示方書〔維持管理編〕発刊に伴う講習会
(平成31年2月8日 岡山市)
- (88) 建設業における多能工推進セミナー(平成31年2月9日 広島市)
- (89) 「デザインプロジェクト」公開講評会(平成31年2月9日 鳥取市)
- (90) 千代川の明日を語る会(平成31年2月17日 鳥取市)
- (91) 鳥取県農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会
(平成31年2月18日 中部総合事務所)
- (92) JAS製材活用セミナー(平成31年3月2日 湯梨浜町)
- (93) 高速道路を活かした地域づくりシンポジウム(平成31年3月14日 鳥取市)
- (94) Cement Meeting(平成31年3月15日 鳥取市)
- (95) SIPシンポジウム(平成31年3月22日 鳥取市)
- (96) 防災・減災シンポジウム(平成31年3月29日 鳥取市)
- (97) 平成31年 測量士・補答案練習セミナー(Web講習)(平成31年3月)
- (98) 老朽橋プロから学ぶ診断・補修設計研修会(実務実践研修)
(平成31年4月11日～12日 京都市)
- (99) ネットワーク型RTK法による基準点測量技術講習会(平成31年4月18日 広島市)
- (100) 河川測量設計講習会(Iコース)Web講習(平成31年4月22日～26日 広島市)
- (101) 水路測量技術検定試験及び水路測量講習会(平成31年4月、6月 東京都)

3 技術情報・業務情報の提供

- (1) 平成30年度版 災害復旧実務講義集
- (2) 平成29年発生災害採択事例集
- (3) 平成30年度版 設計業務等標準積算基準書、単価表作成ツール
- (4) 〃 の解説
- (5) 平成30年度版 工事歩掛要覧<土木編上・下>
- (6) 建設技術者のための現場必携手帳
- (7) 建設業 現場代理人に必要な21のスキル
- (8) 平成30年版災害復旧工事の設計要領
- (9) 美しい山河を守る災害復旧基本方針(平成30年7月改訂版)
- (10) 災害査定の手引き(平成30年版)
- (11) 平成30年度版公共測量積算ハンドブック
- (12) 必携 用地補償実務便覧2019年版
- (13) 改訂版 補償業務管理士試験問題の解説(共通科目)
- (14) 新時代の水とひとの生き方 - 「水防災意識社会」の再構築に向けて -

- (15) 補償業務管理士試験問題の解説
- (16) 平成30年分路線価図
- (17) 激甚化する水害
- (18) 空中写真に遺された昭和の日本（西日本編）
- (19) 「国土調査法第19条第5項指定申請の手引き」作成周知
- (20) 「河川維持管理技術者」資格試験・活用周知
- (21) 国交省直轄事業推進PPPに関するガイドライン作成周知

4 災害現地研修

災害からの復旧・復興に対する協会・会員業務及び行政機関との災害復旧協力、現地対応や業務協力など活動の参考とするため、今年度も引き続き被災地現地視察等を行った。

開催日	平成30年5月31日～6月1日
参加者	県、大野木会長、大西総務委員長外 17名
内容	○ 5月31日 福岡県朝倉市他 平成29年九州北部豪雨被災地 ○ 6月1日 九州大学との意見交換

5 平成30年度建設技術研修検討委員会

研修のニーズを把握するために行った受講者アンケート等の検証結果をもとに、検討委員会で協議・検討され、平成31年度の研修計画を決定された。

開催日	平成30年10月16日
場所	県庁会議室
議題	○ 平成30年度建設技術研修結果について ○ 平成31年度建設技術研修について
出席者	澤 技術委員長

6 鳥取県 i - Construction 推進連絡会

- 「i-Construction 説明会」開催

開催日	平成31年1月16日（水）
場所	鳥取県庁
内容	第1部（初心者向け）

「i-Construction」に取り組むにあたって【i-con 基礎知識】
第2部（経験者向け）

「i-Construction」の推進【i-con の深化に向けて】

- 『三次元測量設計に関する講習会』（平成31年1月30日）共催

7 「鳥取大学戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」への参画

研究から実用化・事業化までを見据えた研究開発を産学官連携で進める戦略的イノベーション創造プログラム「SIP」が創設され、鳥取県と鳥取大学では、『土木インフラの効率的な維

持管理を図るため、業務を効率化するためのシステム』を現在開発されている。3月14日にはその中間報告会が開催され、システムの開発状況と県中部地域で調査を行われている路面震動調査結果等について報告された。次年度、「江島大橋プロジェクト」として、岐阜大学SIP社会実装支援チームの成果を活用した江島大橋の橋梁点検への新技術（ロボット技術）の適用性の検証と、新技術（ロボット技術）を活用した橋梁点検指針が作成される。

このプロジェクトの「橋梁点検への新技術の適用性評価委員会」、「江島大橋での点検方法検討委員会」、「新技術の適用性評価WG」、「江島大橋での点検方法等WG」に協会は委員・メンバーとして参加した。

○「橋梁点検への新技術の適用性評価委員会」

委員長 黒田 保（鳥取大学大学院工学研究科）

副委員長 吉野 公（ 〃 ）

委員 国土交通省総合政策局、科学技術振興機構、技術センター
コンクリート診断士会、長本専務理事 他

オブザーバー 地整、鳥取県道路企画課・技術企画課、島根県、境港管理組合 他

○「江島大橋での点検方法検討委員会」

委員長 黒田 保（鳥取大学大学院工学研究科）

副委員長 吉野 公（ 〃 ）

委員 鳥取県道路企画課・技術企画課、島根県、境港管理組合、技術センター
コンクリート診断士会、長本専務理事 他

○「新技術の適用性評価WG」、「江島大橋での点検方法等WG」

メンバー 黒田 保（鳥取大学大学院工学研究科）

県道路企画課・技術企画課、技術センター、境港管理組合
コンクリート診断士会、協会5名 他

東部 アサヒコンサルタント(株) 奥村 智洋

(株)荒谷建設コンサルタント鳥取支社 川本 篤志

中部 西谷技術コンサルタント(株) 田中 孝志

西部 サンイン技術コンサルタント(株) 松岡 晃宏

(株)ヨナゴ技研コンサルタント 山根 清香

1) 江島大橋プロジェクトチーム会議 4月17日

- ・プロジェクトの成果目標の協議確認
- ・メンバーの役割分担調整
- ・調査経費等、実証実験にあたっての契約等調整

2) 函桁内視察 4月18日

- 3) 第1回鳥取大学SIP江島大橋プロジェクト・検討委員会 5月11日
- ・江島大橋プロジェクト及び検討委員会について
 - ・江島大橋における従来点検での課題について
 - ・ロボットを活用した橋梁点検指針(案)について
 - ・江島大橋におけるロボット技術実証試験の概要
 - ・各ロボット技術と実施要領について
- 4) 第1回鳥取大SIP江島大橋プロジェクト・評価委員会、江島大橋視察 5月18日
- 5) 第2回鳥取大学SIP江島大橋プロジェクト・検討委員会 6月27日
- 6) 鳥取大学SIP江島大橋プロジェクト 安全講習会 6月28日
- このプロジェクトに参加する者を対象に講習会が開催された。
- 7) ロボット技術を活用した橋梁点検実験の現地視察会の案内 7月18日
- ～鳥取大学SIP江島大橋プロジェクト～
- 8) 第3回鳥取大学SIP江島大橋プロジェクト・検討委員会 11月20日
- ・江島大橋プロジェクト 現地見学会の意見交換会報告
 - ・江島大橋におけるロボット技術実証試験結果の報告
 - ・ロボット技術精度確認試験結果の報告
 - ・各ロボット技術を用いた江島大橋点検実施時の費用・日数の概算
 - ・ロボット技術を活用した橋梁点検指針(案)について
- 9) ロボット技術を活用した橋梁点検指針(案)(3回検討委案)に対する意見照会 11月21日
- 10) 「近未来の社会を支えるインフラ維持管理技術の最前線」(12月12日 米子市)
- 江島大橋で行われた技術の実装試験を紹介
- 11) 第2回鳥取大SIP江島大橋プロジェクト・評価委員会 12月27日
- ・江島大橋におけるロボット技術実証試験結果について
 - ・ロボット技術精度試験結果について
 - ・橋梁点検の高度化に向けたインフラ構造に関する提案
- ～位置特定技術(橋梁マーカ)の現場試行～
- ・ロボット技術による点検と従来点検とのコスト比較について
 - ・ロボットを活用した橋梁点検指針(案)について
- 12) 第4回鳥取大学SIP江島大橋プロジェクト・検討委員会 2月28日
- ・ロボット技術を活用した橋梁点検指針(案)について
 - ・江島大橋におけるロボット技術実証試験結果の報告
 - ① ロボット技術を活用した鳥取県道路橋定期点検業務仕様書(案)
 - ② ロボット技術を活用した鳥取県道路橋定期点検業務積算資料(案)
 - ・鳥取大SIP江島大橋プロジェクト 検討委員会 総括

13) 第3回鳥取大 SIP 江島大橋プロジェクト・評価委員会 3月15日

8 平成30年度砂防学会定期総会並びに研究発表会「鳥取大会」

昨年から準備されていたこの会が開催され、広告掲載、西部支部による当日受付等会の運営に協力した。

開催期日 5月16～18日

会場 米子コンベンションセンター

組織体制 委員長 海堀広島大学教授、委員 鳥大教授、地整企画部、県治山砂防課長、大野木会長等

II. 経営基盤の充実

鳥取県との意見交換会を実施する等積極的に活動を行うとともに、昨年に引続き、入札制度、歩掛りの検討等を行った。県との意見交換会で課題となった事項については、検討・協議を重ね、県へ要望等実施した。

また、県の優良業務表彰は、今年度は、9者（会員分）が表彰された。

1 入札制度等の検証について

各支部への意見の聞き取り、拡大経営委員会の開催をする等経営委員会を中心に検討した。

2 委託業務全般についての検討について

(1) 歩掛見直しについて

○溪流調査の歩掛作成 ⇒ 県からの返答待ち

○漂着物調査（全県統一步掛作成） ⇒ 中止

○道路点検 ⇒ 県確認中

(2) 三次元点群測量業務に係る歩掛

県から見積り提出の依頼があり、技術委員会で検討した。

5月22日 県からの依頼

5月31日 県へ提出

6月4日 「三次元点群測量業務委託歩掛」を県策定。

（平成30年6月11日以降調達公告を行う業務から適用）

(3) 橋梁補修・修繕設計における電子成果品作成費歩掛

県から見積り提出の依頼があり、技術委員会で検討した。

平成31年2月4日 県から依頼

5日 技術委員書面協議

12日 理事会審議

13日 県へ提出

3 経営に関する施策の推進

(1) 平成30年度インターンシップ研修生受入れ

東・中・西部会員4社が8名受入れた。

(2) 会員相互の親交・情報交換のための懇親会の開催

1) 4月26日第7回通常総会及び11月22日報告会終了後、会員相互の親睦を図るため懇親会を実施した。

2) 協会員の一層の親睦を図るため、「親睦グラウンドゴルフ大会」を開催し、親睦を深めた。

開催日 平成30年9月21日

場所 北栄町 レークサイド大栄

参加者 90名(協会員30社職員、協会役員)

(3) 県への要望活動・意見交換会等の実施

1) 県関係

① 県との意見交換会

開催日 8月7日

場所 鳥取市 とりぎん文化会館

出席 30会員

協会提出議題

1、公共事業の今後の動向について

2、入札制度について

3、働き方改革について

② 入札制度改正についての協議(8月22日 県庁)

入札制度の改定に関する資料を県から提供を受けた。

これを受け、第6回理事会で経営委員会を中心に検討することに決定した。

③ 入札制度についての意見交換会(9月4日 県庁)

④ 入札制度についての意見交換会(9月27日 県庁)

⑤ 県技術企画課・県土総務課との意見交換(平成31年2月22日 県庁)

・「平成30年発生災害の対応業務に基づく提言」(協会)

・3次元測量等のICT活用の今後の方向性等について

・災害協定の変更等について提案(県)

2) 国関係

開催日 11月22日

場所 鳥取市 とりぎん文化会館

出席 27会員

○講演

「今後の国土交通省の取組みについて」

講師 中国地方整備局企画部技術管理課
建設専門官 浜田 健一 氏

○意見交換

協会提出議題 地場企業の成長について

4 その他経営基盤の充実

(1) 講演会開催

第1回報告会において、鳥取労働局から講師を招いて講演会を開催し、労基法第33条等について理解を深めた。

講演会の開催にあたっては、事前に労基法第33条に関する意見等を調査し、説明を受けた。

「働き方改革・労基法第33条について」

講師；鳥取労働基準監督署

第三方面主任監督官 米村 康佑 氏

(2) 各種経営講習会への参加

1) 平成30年度県土整備部人権問題研修会

開催日 平成30年7月30日

場 所 鳥取県庁

参加者 10名

2) 平成30年度春期サテライト講習会（Aコース、Bコース）（4月～7月 大阪）

3) 平成30年度入札・契約手続き等に関する説明会（4月13日 米子市）

4) 平成31年度発注者支援業務等に関する民間事業者向け説明会（11月30日 出雲市）

5) 経営管理I研修「Mission、採用・教育、ICTの重要性について」（8月31日 湯梨浜町）

6) 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業シンポジウム（8月8日 鳥大）

7) 関係人口と農山村再生シンポジウム 2018in 鳥取中部（9月1日 琴浦町）

8) 「高校が「地方」を育てる」シンポジウム（10月27日 東京都）

9) 全国事業承継サミット（10月29日 東京都）

10) 「今すぐやらなきゃ！働き方改革セミナー」（平成31年2月8日 倉吉市）

11) 平成30年度インターンシップ推進フォーラム（平成31年2月4日 鳥大）

(3) 企業倫理・法令遵守の徹底

1) 平成30年度建設関連5団体共催講習会

開催日 平成30年10月18日

場 所 広島市 広島県民文化センター

内容・講師 独占禁止法の遵守について

講師：公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所中国支社
建設コンサルタント業務等の入札契約制度について
講師：中国地方整備局企画部建設専門官

(4) 経営関係業務支援

- 1) 今年度も国土交通省に提出する申請、報告等の審査を行った。
 - 財務報告
 - 登録証明願
- 2) 鳥取県県土整備部補助事業 建設関係企業の担い手確保・育成事業周知
- 3) 下請取引適正化周知
- 4) 災害応急対策活動等に関する協定業者募集周知
- 5) 公共工事の円滑な施工確保周知
- 6) 「土木広報大賞 2018」募集周知
- 7) 建設コンサルタント登録規程及び建設コンサルタント登録規程の解釈及び運用の方針改正周知
- 8) 国交省低入札価格調査基準の範囲改定周知
- 9) 熱中症 クールワークキャンペーン実施周知
- 10) 働き方改革関連法の施行に向けた取引上の配慮について周知
- 11) 新設計業務委託等技術者単価公表周知
- 12) 地域整備推進調査費補助金募集周知
- 13) 平成 31 年度国庫省土木工事・業務の積算基準等の改定周知
- 14) 国土地理院「意匠制度」に関するパブコメ募集周知
- 15) 電子契約システムの試行運用開始周知
- 16) 印紙税非課税措置周知
- 17) 地理院における成績評定要領等改正周知
- 18) コリンズ・テクリスリニューアルお知らせ
- 19) 電子納品要領及び電子納品運用ガイドラインの改定（お知らせ）
- 20) 労働災害防止対策推進周知
- 21) 「災害その他避けることのできない事由によって臨時の必要がある場合における労働基準法第 3 3 条第 1 項に基づく許可等の取扱いの徹底について」（9月18日通知）周知

(5) 山陰近畿自動車道整備推進決起大会

開催日 平成30年11月13日
場 所 議員会館
参加者 関係県選出国會議員・府県知事・市長・町長、国交省道路局長、
当協会会長他

(6) 中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会

開催日 平成30年11月16日

場所 議員会館

参加者 鳥取県知事、県選出国會議員、国交省道路局長、県会議長、県内
関係市町村長、当協会会長他

(7) 境港管理組合設立60周年記念式典(11月6日 会長出席)

(8) 3次元測量の実施可能会社調査 5月

今年度、県が3次元測量を試行されるにあたり、①UAV写真測量、②地上レーザー測量
の実施可能社の調査を行った。

<調査結果> ① 16社可能 ② 15社可能

Ⅲ. 業界の将来に向けて

1 新規技術者確保に向けた環境整備

(1) 鳥取県建設分野担い手確保・育成等連携協議会

鳥取県では、公共工事の品質確保の促進に関する法律第3条の理念に則り、行政、学術機
関、民間企業等関係機関が、連携して建設分野の担い手の確保・育成の取組及び公共工事の
生産性を向上させる取組を推進すること、持続可能な建設産業の発展及び建設分野における
県の強靱化につなげることを目的としてこの会を設置され、この会のメンバーとして、当協
会も参加した。

1) 第1回(9月5日)

- ・取組による成果と課題
- ・地域課題の抽出と今後の取組
- ・産業人材育成強化会議について

2) 第2回(1月10日)

- ・任期満了に伴う役員選任
- ・次年度取組方針(案)について
- ・地域課題解決に向けた取組
- ・鳥取県産業人材育成強化方針(案)について

3) 第1回「とっとりけんせつ 魅力発信フォトコンテスト」審査会(9月10日)

県内の小・中学校に通う児童・生徒63人から101点の応募が寄せられ、入賞作品は
協議会のホームページに掲載された。

4) 県内高校への「UAV測量演習」の実施

11月 9日 鳥取工業高校 — アイコンヤマト(株)対応

15日 倉吉農業高校 — (株)ジーアイシー対応

平成31年1月21日 米子工業高校 — サンイン技術コンサルタント(株)対応

- 5) インターンシップ実施状況に係るアンケート調査実施
- 6) 鳥取大学工学部3年生のインターンシップ受入可否調査実施
- (2) 鳥取県人材育成奨学金支援助成金制度周知
(対象拡充; 情報通信業、農業、林業、漁業及び農林水産業協同組合)
- (3) 協会腕章活用
協会名の入った腕章を、視察研修等の協会行事・災害応援時等に活用した。

2 業界を担う次世代の育成

(1) 「若手主体の経営勉強会」開催

今年度この会を設立し、若手経営者及び将来幹部をメンバーとした経営に関する勉強会を開催した。

勉強会は年3回程度を予定し、経営者・幹部としての勉強、他県測協の若手との交流などを行う。

○ 第1回

開催日 8月8日

場 所 ANAクラウンプラザホテル米子

内 容

設立の会

講 演 「若手経営者へ伝えたいこと」

講師 (株)荒谷建設コンサルタント 会長 荒谷 壽一 氏

質疑応答、ディスカッション

参加者 10名

○ 第2回

開催日 3月12日

場 所 県民ふれあい会館

内 容

今後の活動方針等について

参加者 11名

(2) 平成30年度 女性技術者のつどい

今年度、初めての試みとして、(公社)日本技術士会中国本部鳥取県支部との共催により建設コンサルタント業務に関わって働く女性技術者及び女性技術者を目指す方を対象とした会を開催し、官民の女性技術者が意見交換等を行い、交流を深めた。

日 時 平成31年1月23日(水) 13時30分～15時30分

会 場 倉吉市 ホテルセントパレス倉吉

内 容

講演 1 「男女共同参画の意義」

講 師 鳥取県女性活躍推進課 課長 藤田 博美 氏

講演 2 「男女共同参画に向けた女性技術者の活用」

講 師 (公社) 日本技術士会中国本部鳥取県支部長 伊藤 徹 氏

男女共同参画についての意見交換 (交流・フリートーク)

コーディネーター: (公社) 日本技術士会中国本部鳥取県支部 赤井 伸江 氏

参加者 国・県・団体・会員 46名

3 公共の福祉に寄与する事業の実施及び参加

(1) 第20回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展後援

今年度もこの作品展に後援し、小学校の部1名に当協会会長賞を授与した。

会長賞: 「鳥取県=〇取県!鳥取PR大作戦!! ~ふるさと再発見マップ~」

鳥取市立美保小学校 6年 細野 月渚さん

表彰式: 12月15日 とりぎん文化会館

澤副会長授与

(2) 第12回鳥取県県土整備部測量競技会 (中止)

(3) 鳥取県建設技術センター研修会への講師を派遣した。

「測量実習研修」(県委託研修 11/1)

講師;アサヒコンサルタント(株)

「測量実習研修」(センター自主研修 10/23)

講師;西谷技術コンサルタント(株)

(4) 基準点説明板設置・維持事業

鳥取市、倉吉市、米子市に設置している基準点説明板の維持・管理を行った。

(5) 「緑の募金」運動賛同

(6) 日本赤十字活動協賛

(7) 米子市景観審議会委員推薦

委員委嘱期間 平成31年1月31日~平成33年3月31日

推薦 生西 克徳 (西部支部)

(8) 平成30年北海道胆振東部地震へ支援金

(9) 職場体験活動「ワクワクとっとり」へ協力

建設コンサルタント業の認知度向上のため、「中学生の職場体験」に取り組んだ。

鳥取市で実施されている「ワクワクとっとり」への取組可能会員を調査し、その結果を市教育委員会へ届けた。(4社推薦)

(10) 八東川クリーンアップ大作戦参加 (4月21日 東部支部)

(11) 平成30年度「道の日」道路美化活動 (8月10日 中部支部)



- (12) 岸本バイパス開通式・記念イベント（11月23日 会長・西部支部）
- (13) 鉄道と土木興味ワク湧く校外学習（12月4日 東部支部 アイコンヤマト㈱）

4 測量設計無料相談の実施

測量に関連した用語、資格者会社の問い合わせ等について、事務局、協会ホームページで対応した。

また、各会員が年間を通して個々に実施した。

5 災害時の技術協力及び技術援助

- (1) 平成30年7月豪雨、台風24号等に対する応援

鳥取県から災害協定に基づく応援要請があり、全会員で対応した。また、中国地方で発生した災害に対する応援要請についても各自対応した。

7月19日 災害復旧工事測量設計業務に対する県協議

「平成30年7月豪雨による被災対応に伴う通常業務（測量設計等業務）の取扱いについて」県通知

24日 災害復旧工事の測量設計業務にかかる合同説明会（協会員67名参加）

8月22日 平成30年7月豪雨による広島県災害対応調査

10月15日 「平成30年台風24号による被災対応に伴う通常業務（測量設計等業務）の取扱いについて」県通知

11月21日 「長寿命化計画策定にかかる業務委託（砂防）」取扱い連絡

- (2) 大分県中津市における土砂災害を受けての土砂災害警戒区域の緊急点検について

4月12日 実施について県（治山砂防課）から照会

13日 県へ回答

各会員へ経緯報告（第1報）

22日 県協議

24日 各会員へ経緯報告（第2報）

5月 8日 県協議、各会員へ経緯報告（第3報） 調査箇所 6地区9ヶ所

9日 各支部対応社決定 5社

事前打合せお知らせ

14日 緊急法面点検の事前打合せ 5社 10名

- (3) 災害の発生に備え、応援協力体制を確認・整備した。

降雨による災害について迅速に対応し、早期の災害復旧となるよう努めた。

また、協力体制等についての問題点等を調査し、より迅速な対応・復旧となるよう検討した。

- (4) 県の災害支援要請訓練参加

県及び県と災害協定を締結している事業者等による災害発生を想定した支援要請訓練が実

施され、参加した。

この訓練は実連絡ルートで実施されることから、各支部へ事前連絡し周知を図った。

訓練日時：平成31年1月17日

訓練場所：鳥取県庁及び各協定締結事業所

参加者：鳥取県、協定締結業者

(5) 鳥取港港湾BCP情報伝達訓練（平成31年1月31日）

港湾管理者と鳥取港港湾BCP連絡協議会会員が情報伝達訓練を行った。

6 「測量の日」関連行事の実施

(1) 第23回中国地区測量技術講演会

「測量の日」中国地区連絡協議会主催、国土交通省中国地方整備局等が後援しているこの会が広島市で開催された。

開催日 平成30年6月26日

場所 広島市 広島県民文化センター

内容

○特別講演

「測量・計測技術の進展と地理空間情報の活用」

講師 日本大学理工学部 交通システム工学科 空間情報研究室

教授 佐田 達典 氏

○技術講演 1

「地理空間情報活用推進に関する国土地理院の最近の取組」

講師 国土地理院 企画部 地理空間情報企画室長 石関 隆幸 氏

○技術講演 2

「地域企業における最新の測量・地域空間情報技術について」

講師 復建調査設計(株) 空間情報部 情報技術課 蔭山 洋亮 氏

○技術講演 3

「測量・地理空間情報分野における先端的取組について」

講師 (株)ジツタ中国 代表取締役 實田 泰之 氏

(2) 6月3日の「測量の日」を中心に、懸垂幕、ポスターを提示した。

また、鳥取県では、県庁前電光掲示板に表示され、PRに努めていただいた。

昨年度新しく作成した幕を会員・協会事務局が其々掲揚した。

(3) 「測量の日」中国地区連絡協議会

開催日 平成31年1月21日

場所 広島市

議題 ・平成30年度「測量の日」関連行事実施報告

- ・平成31年度「測量の日」関連行事について
- 出席者 国土地理院中国地方測量部長、中国地方整備局、海上保安庁、中国地方5県、広島大学、中国5県測協事務局長 等

IV. 全測連その他関係諸団体との連携

1 全測連関係

大野木会長が、全測連理事、技術委員会副委員長、「3次元推進部会」の部会長として種々活動した。

- (1) 平成30年度定時総会（5月24日 東京都）
 - 平成29年度貸借対照表及び損益計算書（商務財産増減計算書）の承認について
 - 理事及び監事の選任について
 - 平成29年度事業報告について
- (2) 全国会長会議（10月10日 広島市）

この会が広島市で開催され、中国5県測協が協力して準備・運営した。

 - 業務執行状況について
 - 意見交換
- (3) 全測連会長懇談会・賀詞交歓会（1月11日 東京都）
- (4) 地区協議会会長会議（9月14日 東京都）
 - 平成29年度の活動報告
 - 国に対する要望
- (5) 理事会（9月13日、12月13日、3月28日 東京都）
- (6) 技術委員会（7月23日、9月10日、12月12日 東京都）
- (7) 三次元推進部会（11月7日、1月29日 東京都）
- (8) 発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会
 - 第1回懇談会 8月8日
懇談会委員；成蹊大学教授、東大教授、全測連副会長等
 - 業務マネジメント部会（第1回） 11月29日
マネジメント部会委員；東大教授、日大教授、全測連理事等
 - 建設生産・管理システム部会（第1回 11月21日、第2回 2月28日）
建設生産・管理システム部会委員；東洋大教授、東大教授、全測連等
- (9) i - Construction における「ICTの全面的な活用」に関するアンケート調査（12月）
- (10) 公共事業発注者の技術力に関する受注者へのアンケート調査(平成31年1月)
対 応 ； アサヒコンサルタント(株)
- (11) 測量業における手続きコスト削減に関するアンケート調査（平成31年1月）

協力会社；サンイン技術コンサルタント㈱、西谷技術コンサルタント㈱
アサヒコンサルタント㈱

- (12) 国土地理院意見交換質問・要望等募集
- (13) 測量成果検定実施
- (14) 「近代測量 150 年記念事業」ポスター、パンフレット送付
- (15) 約款改正に伴う問題点等への意見照会
- (16) 国土調査のあり方に関する検討小委員会（骨子案）情報提供
- (17) 用地測量アンケート
- (18) 積算基準についてのアンケート（安全費）（地上測量等）
- (19) 平成 30 年度業際問題担当者会議（8 月 29 日）
- (20) 「測量調査業務共通仕様書(案)平成 30 年版」、「測量調査業務積算基準、標準歩掛平成 30 年版」についての意見照会
- (21) 労働基準法第 33 条の適用実績調査（8 月）

2 全測連中国地区協議会関係

- (1) 第 74 回定例会（5 月 10 日 広島市）
 - 平成 29 年度事業報告並びに収支決算の承認について
 - 平成 30 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について
 - 各県からの提出議題に係る意見交換
 - 任期満了に伴う役員の改選について
 - その他
 - ・ 第 23 回中国地区測量技術講演会案内
 - ・ 第 6 回中国地区技術発表会実施要綱（案）
 - ・ 全測連全国会長会議
 - ・ 受注状況調査について
- (2) 第 75 回定例会（11 月 8 日 米子市）
 - 会則の変更について
 - 慶弔規程の変更及び会費徴収規程の制定について
 - 平成 30 年 7 月豪雨災害の対応について
 - BIM/CIM の動向について
 - 全測連の国交省への要望報告
 - その他
 - ・ 地区協活動報告
 - ・ 「国土地理院広報推進協議会」広報資料への掲載者推薦について

(3) 会長・副会長会議

第1回 6月6日 (米子市)

- 地区協の今後の運営について
- 全国会長会議 (広島県開催) について
- 中国地方整備局との意見交換会について

第2回 8月9日 (広島市)

- 平成30年7月豪雨対策について

第3回 8月21日 (岡山市)

- 全国会長会議 (広島県開催) の対応について
- 広島県災害の対応について
- 国交省中国地方整備局との意見交換会について
- 福祉共済グループ保険の取扱いについて

第4回 2月14日 (岡山市)

- 災害時広域連携について
- 災害歩掛の統一について
- 平成30年度決算見込みについて
- 平成31年度事業計画及び予算について
 - ・ BIM/CIM の研修及び今後の取り組みについて
 - ・ 全測連リクルートパンフレット等を活用する人材確保について
 - ・ 近代測量150年記念事業の取り組みについて
 - ・ その他定例の事業について

(4) 平成30年7月豪雨 (広島県災害) 対応

平成30年7月の豪雨により発生した広島県の災害に対し、地区協議会で対応等協議し、全測連にも支援を要請する等対応した。

○対応経過

7月10日	全測連で西日本豪雨災害対策本部を設置 県測協単位で対応できない場合は地区協議会で協議して、地区協議会で十分な対応ができない場合には全測連への対応を依頼することの通達。
8月1日	広島県測協から地区協へ支援依頼あり。
8月2日	全測連から、災害の協力要請は地区協会ですとまとめる通達。

8月9日	<p>地区協会会長会開催</p> <p>広島県の技術企画課 北山技術管理担当官から災害支援の依頼。</p> <p>各県の被災状況（一般土木災害）</p> <p>鳥取県 120億円 東部地区の災害に対応中</p> <p>島根県 20億円 太田市地震の対応と緊急ため池点検を対応中</p> <p>山口県 213億円 岩国地区の災害に対応中</p> <p>岡山県 265億円 備中地区に集中して対応中</p>
8月21日	<p>地区協会会長会開催</p> <p>20日に広島県から提示された対応の困難箇所について、各県測協へ支援可否の調査を依頼。</p>
8月31日	<p>各県の支援可否の回答を踏まえ、岡山、島根県測協が一部地域の災害支援をすることを確認し、全測連への支援依頼を決定。</p>
同	<p>広島県から「広島県の着実な災害復旧にご協力ください」の文書で支援依頼あり。</p>
9月4日	<p>全測連に支援依頼を提出</p>
9月13日	<p>全測連理事会で対応協議</p>
9月14日	<p>全測連より支援についての回答</p> <p>中国各県へ報告。地整へ回答</p> <p>全測連から支援協力会社へ報告</p>
9月21日	<p>全測連から追加支援通知</p>
12月27日	<p>全測連から広島県豪雨災害対応ヒアリング結果報告</p> <p>○全国から34社が災害対応に協力</p> <p>○意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外業者登録の枠を外して対応し、お願いした地域を断るところはなかった。 ・期間とかが合わなかったのは別として、1-2社が下請けであったがほとんどは元請けで対応した。 ・助けてもらってとても嬉しく思っている。 ・広島県測協の理解がないとスムーズにできなかった。 ・33条の問題でも労働基準局に働きかけた。 ・12月17日付で広島県のホームページにおいて「豪雨災害に伴う測量・設計業務へのご協力ありがとうございました」とお礼文をアップした。

(5) 「災害時相互応援に関する協定」検討

平成30年7月豪雨災害を受け、第75回定例会（11月8日）において、岡山県測協から提案のあった「大規模災害時の広域的な応援体制」について、第4回会長・副会長会議（2月14日）において協議がなされ、「地区協として広域連携に取り組む」ことが合意された。検討にあたっては、地区協、各県測協の役割等最低限必要な内容の連携協定を締結することに取り組み、その後、協定内容の精度を上げていくこととした。

5月に開催する第76回定例会で協定締結する。

(6) 災害歩掛検討委員会設置

災害歩掛の現状や運用について認識の共有を図り、歩掛の改善等に資することを目的にこの会が設置された。

（2月14日 第4回会長・副会長会議決定。委員長 和田副会長 各県測協1名で構成）
今後、中国地区各県の現状等協議・検討し、歩掛等の改善に向けて活動する。

	氏 名	会社・役職名
委員長	和 田 晶 夫	島根 (株)ワールド測量設計 代表取締役
委 員	澤 克 生	鳥取 アサヒコンサルタント(株) 代表取締役
同	岩 谷 芳 孝	島根 (株)ワールド測量設計 経営企画部 部長
同	清 水 英 二	岡 山 西部技術コンサルタント(株) 代表取締役
同	石 田 秀 文	広 島 フクヨシエンジニアリング(株) 営業部長
同	鷹 羽 慎 治	山 口 (株)宇部建設コンサルタント 常務取締役

(7) 事務局長会議

第1回（3月7日 山口市）

- 災害時広域連携に係る協定書について
- 平成30年度事業報告について
- 平成31年度予算について

○ 平成31年度事業計画について

○ 各県測協からの議題について

(8) 国土交通省中国地方整備局との意見交換会

開催日 10月16日

場所 広島市

協会出席者 大野木会長、山本副会長

要望事項 ○ 地場企業の成長

○ 働き方改革の推進

○ i-Construction の取り組み

○ 地整との意見交換会にあたり、資料作成等担当者会議（各県1名）を開催し、データ収集、資料を作成した。（7月18日 広島県測協事務局）

出席者

島根 岩谷 芳孝 (株)ワールド測量設計 経営企画部 営業部長

岡山 清水 英二 西部技術コンサルタント(株) 代表取締役 調査委員会委員長

広島 安田 隆男 (株)陸地コンサルタント 総務管理部長

山口 鷹羽 慎治 (株)宇部建設コンサルタント 常務取締役 協会経営委員会委員長

鳥取 沢村 一朗 サンイン技術コンサルタント(株)第1営業チームリーダー

全測連中国地区協議会 会長 大野木 昭夫 ((一社)鳥取県測量設計業協会)

同 事務局長 長本 敏澄 (同)

○ 地整への事前説明を行った。(9月3日)

全測連中国地区協議会 会長 大野木 昭夫 ((一社)鳥取県測量設計業協会)

同 事務局長 長本 敏澄 (同)

(9) 平成30年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会

開催日 11月26日

場所 広島市

出席者 地区協 大野木会長

(株)ウェスコ 技術推進副本部長 岩元 浩二

測量事業部長 岡口 敏之

議題 ○ 地理空間情報の利活用について

○ 意見交換等

○ 今後の活動方針

(10) 「中国地方建設現場の生産性向上研究会」

開催日 平成31年2月27日

場所 中国地方整備局

出席者 地区協 大野木会長

議 題 ○ 規約の改正

○ 平成 30 年度の取り組み状況

○ 平成 31 年度の取り組み方針

○ 『第 5 回ワーキンググループ』

開催日 平成 3 1 年 1 月 1 5 日

場 所 広島市

出席者 (株)荒谷建設コンサルタント 山本 悟、 越智 貴政

議 題 ○ 平成 30 年度取組状況報告

○ 地方自治体への普及促進など

(11) 国土地理院広報推進協議会HPリニューアル支援

国土地理院広報推進協議会HP中 職種紹介 測量系（データ整備）について、中国地区協議会が担当。

担 当 ; 山口県 (株)宇部建設コンサルタント

V. 活力ある協会運営

1 総 会

(1) 第 7 回定時会員総会 4 月 2 6 日 米子市

○ 平成 2 9 年度正味財産増減計算書及び貸借対照表の承認について

○ 一般社団法人鳥取県測量設計業協会定款の一部変更について

○ 理事・監事の選任について -

○ 平成 2 9 年度事業の報告

○ 平成 3 0 年度事業計画について

○ 同 収支予算について

(2) 第 1 回報告会 1 1 月 2 2 日 鳥取市

○ 労働基準法第 3 3 条について

○ 各専門委員会報告

○ 県の入札制度について

2 理事会

(1) 第 1 回 4 月 1 2 日

○ 平成 2 9 年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書の承認について

○ 平成 2 9 年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について

- 第7回定時会員総会について
 - ・総会開催日時・会場について
 - ・総会議案について
- (2) 第2回 4月26日
 - 会長、副会長及び専務理事の選定について
 - 専門委員会委員について
 - (公社)鳥取県建設技術センター理事の推薦について
- (3) 第3回 5月7日
 - 規程の一部変更について
 - ・理事の職務権限規程 別表(施行細則第2号)
 - ・専門委員会設置等に関する規程(施行細則第8号)
 - 専門委員会の構成について
 - 平成30年度事業の実施計画について
- (4) 第4回 7月3日
 - 各専門委員会報告
 - 県との意見交換会議題について
- (5) 第5回 7月17日
 - 平成30年7月豪雨災害の対応について
- (6) 第6回 8月23日
 - 各委員会活動報告
 - 入札制度について
 - その他
 - ・西日本豪雨義援金について
- (7) 第7回 10月4日
 - 入札制度について
 - その他
 - ・“第30回全国「みどりの愛護」のつどい”鳥取県開催への協賛について
- (8) 第8回 2月12日
 - 平成30年発生災害の対応業務に基づく「提言」について
 - 各委員会の活動報告について
- (9) 第9回 3月1日
 - 各委員会の報告について
 - 平成30年度事業執行状況、決算見込みについて
 - 平成31年度予算について

○ 県との協議（2/22）に対する対応について

(10) 第10回 書面協議

○ 退会について

3 決算監査

平成29年度決算監査（4月9日）

4 専門委員会

(1) 総務委員会

1) 第1回 5月21日

○ 平成30年度の活動について

- ・ 災害視察研修（5月31日～6月1日 福岡県）
- ・ 測量の日（6月3日）の広報
- ・ 第5回親睦グラウンドゴルフ大会（9月21日 レークサイド大栄）
- ・ 郷土づくりシンポジウム（10月26日 倉吉未来中心）

2) 第2回 2月19日

○ 平成31年度郷土づくりシンポジウムについて

○ 視察について

3) 郷土づくりシンポジウム

7月 2日 鳥大

9月12日 降旗講師調整

20日 会場下見・打合せ

10月26日 開催

3月19日 平成31年度講師調整

4) 親睦グラウンドゴルフ大会 9月21日開催

(2) 経営委員会

1) 第1回 5月21日

○ 平成30年度の活動について

- ・ 入札制度の検証
- ・ 委託業務全般についての検討
- ・ 経営に関する施策の推進
- ・ 業界を担う次世代の育成

2) 第2回 8月27日

○ 入札制度改正についての今後のスケジュール確認

委員会の内容を踏まえ、各支部の追加質問等があれば、8月30日までに委員長へ提出。取りまとめて、9月4日に県へ質問を提出する。

○改正案について

県提示の改正案について、制度内容の理解と制度の疑問点について質問を集約した。

- 3) 県協議 9月 4日
- 4) 県回答及び修正(案)提示 9月13日
- 5) 第3回 9月18日

○県回答の確認、意見集約

- ・技術点の配点について
- ・回答書 3/6 (2) ③について
- ・回答書 4/6 ⑨について

- 6) 意見集約 9月25日
- 7) 県へ質問等提出・意見交換 9月27日
- 8) 県回答 10月3日
- 9) 拡大経営委員会 10月4日

○入札制度について

- ・これまでの経過
- ・県の改正案について
- ・県の改正案に対する意見について

- 10) 協会意見提出 10月12日
- 11) 県協議 11月15日
- 12) 第4回 12月5日

○入札制度について

簡便型総評の入札制度改正について鳥取県より、意見を求められた点について、各支部での協議結果を踏まえ協議。

- ・「過去5年以内の85点以上の業務」について、「過去3年以内」ではダメか？
→「過去3年以内」としてもよい。
- ・85点の引上げについて
→ 来年度は、現状通り85点として頂きたい。
各事務所の差(5事務所の平均点に最高と最低で約3点の差)を是正して頂きたい。その上で、試行的に85点を上げる検証をしてはどうか。
- ・配置予定技術者は1名のみとしたい
→ 1名のみとしてもよい
- ・その他
複数事務所で同日に改札を行う場合、手持ち業務件数を各事務所間でリアルタイムに反映させるシステムの再検討をお願いしたい。

13) 県協議 12月11日

14) 第5回 平成31年1月25日

○災害対応業務に関するアンケートについて

15) 『平成30年発生災害の対応に基づく「提言」』について書面協議

16) 「提言」を理事会へ提案

17) 県へ「提言」提出（平成31年2月22日）

(3) 技術委員会

1) 第1回 5月21日

○ 技術力向上のための施策の推進

・優良業務発表会の開催（4月19日）

・UAV（ドローン）、CIM等新しい技術習得の研修会等の開催（7月11日～12日）

・施設点検、補修修繕等、難易度の高い業務講習会の計画

・災害復旧実務研修会（6月5日）

・技術資格講習会等の開催（8月2日 技術士第一次・RCCM）

○ 委託業務全般についての検討

・溪流調査の歩掛作成

・漂着物調査歩掛作成（全県統一步掛）

・道路点検歩掛作成

○（一財）鳥取県建設技術センター主催測量研修会への講師派遣

○ 測量競技会への参加

2) 第2回 7月10日

○ 海岸漂着物調査業務の歩掛見直しについて

3) 「橋梁補修・修繕設計における電子成果品作成費歩掛」について書面協議（2月4日）

理事会（第8回 2/12）で審議し、2月13日に県へ提出した。

4) 「第4回優良業務発表会」について書面協議（平成31年2月13日）

(4) 3次元測量検討委員会

業務を受注している会員を委員とし、業務の現状、今後の検討の方向性について協議した。

提言を次年度にまとめ、県へ提出するよう活動する。

1) 第1回 平成31年2月12日

○ 委員会の目的について

○ 業務の現状について

○ 今後の検討の方向性について

参加 アサヒコンサルタント(株)、(株)ウエスコ鳥取支社、西谷技術コンサルタント(株)
サンイン技術コンサルタント(株)、シンワ技研コンサルタント(株)

大野木会長、澤技術委員長、岩山副委員長、長本専務理事

2) 第2回 平成31年3月15日

○ 問題点等の意見集約について

3) 県へ「現状、問題点」報告 平成31年3月22日

(平成31年5月7日 県と協議予定)